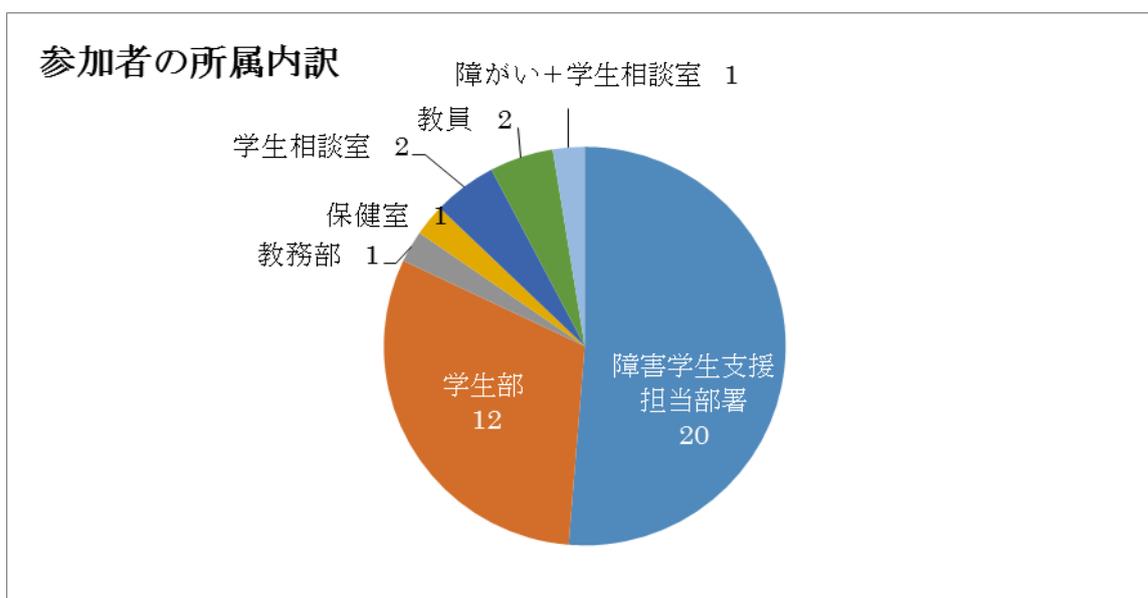


第 15 回関西障害学生支援担当者懇談会 アンケート集計結果

平成 27 年 9 月 1 日（火曜日）京都サテライト

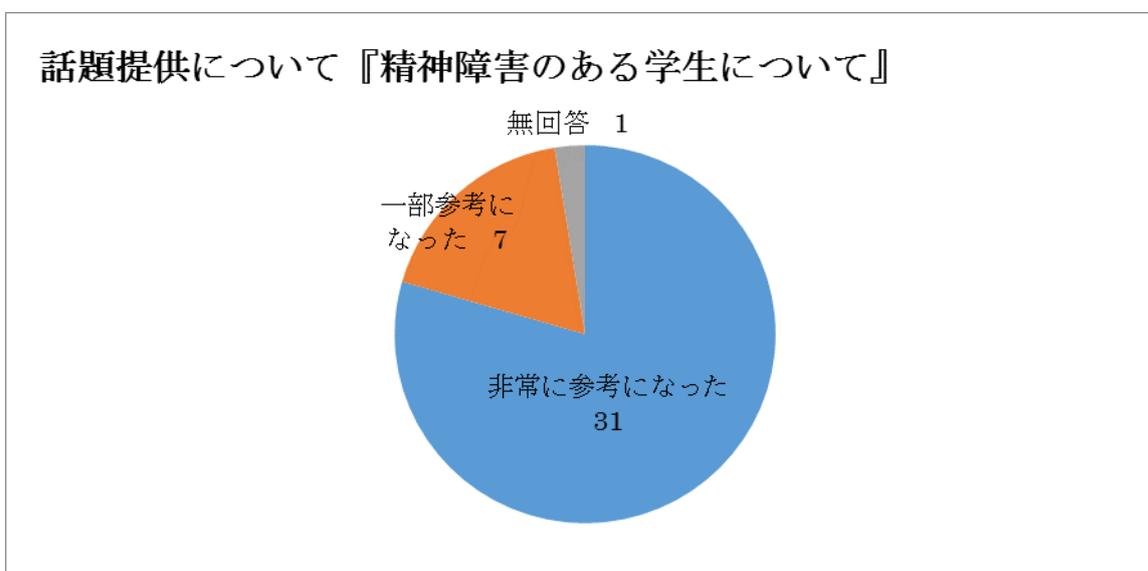
【有効回答数：39（参加者数 47 名）】

1. 参加者の所属内訳



2. 話題提供について『精神障害のある学生の支援について』

(1) 参考になったか



(2) 今後、講演で取りあげて欲しいテーマ（自由回答）

※発達障害、精神障害などの学生の支援について 4 件

- ・発達障害学生のトラブル対応事例について。障害学生の教育と成長について
- ・発達障がい学生の修学支援について
- ・診断を受けていない等グリーンゾーン学生の対応について
- ・精神障害（統合失調症 etc）の病院との連携、調子の悪い時等の対応について

※キャリア形成・就労支援について 3 件

- ・合理的配慮の視点からのキャリア形成支援について
- ・障害学生の就労支援と卒業後の実態（把握できていれば）について
- ・自傷学生への対応と就労支援について

※ガイドライン・制度・体制について 7 件

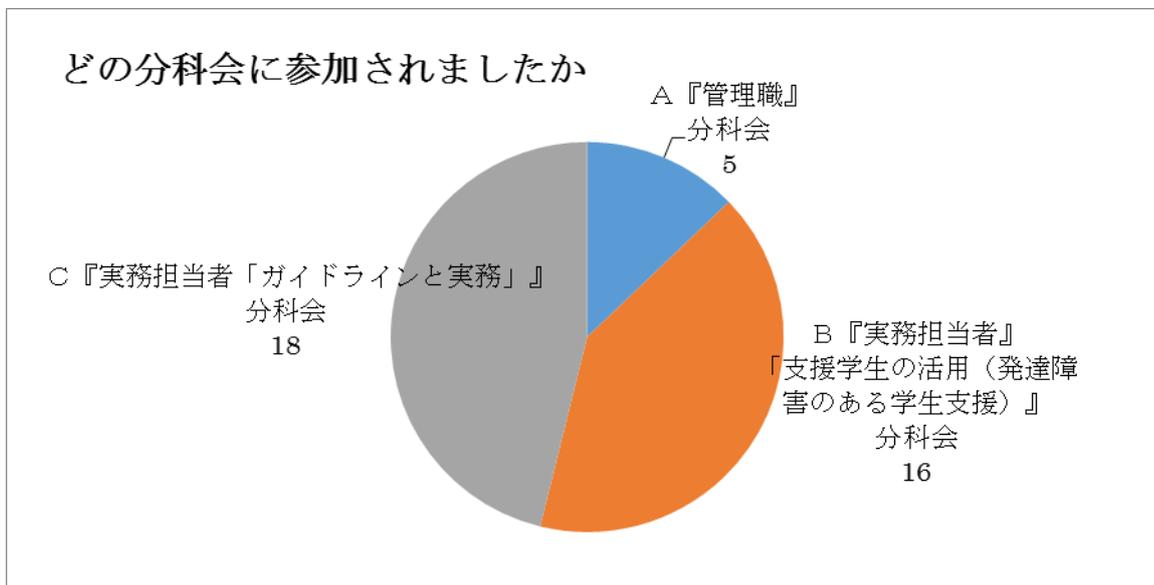
- ・ガイドラインのポイントについて
- ・（次回 2～3 月頃だと思うので）指針・ガイドライン中心の情報
- ・学生の個人情報の取り扱いについて（情報共有と共有範囲）
- ・ピアサポート体制についての情報
- ・学生間のピアサポートの進め方と事例を中心としたレクチャー
- ・入学後支援についての入学前相談対応
- ・障がい学生支援体制の再確認と、次年度障がい学生入学予定者数の動向について

※その他 3 件

- ・FD、SD 特に障害学生支援に関心の薄い教職員に対してどう働きかけるか
- ・今回のテーマを再度取り上げた、より具体的な実務に結びついた内容
- ・支援の事例再検討（自学の事例に照らし合わせて考えるため多様なケースを聞きたい）

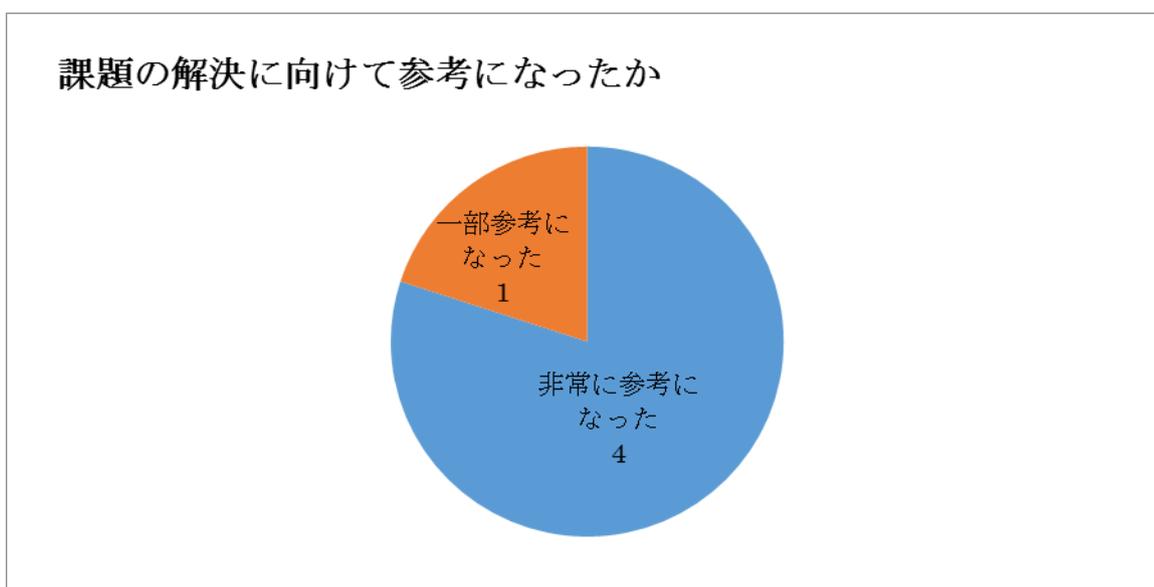
3. 分科会について

(1) どの分科会に参加されましたか



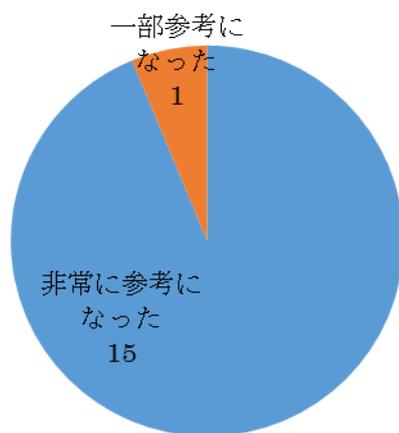
(2) 分科会は課題の解決に向けて参考になったか

A 『管理職』分科会



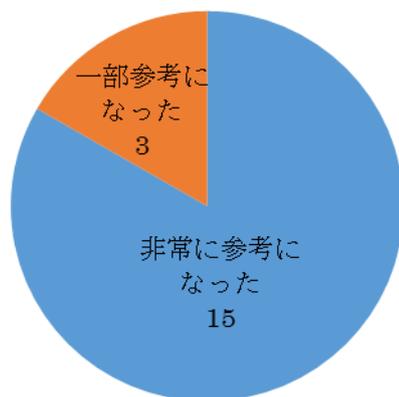
B『実務担当者「支援学生の活用（発達障害のある学生支援等）」分科会

課題の解決に向けて参考になったか



C『実務担当者「ガイドラインと実務」』分科会

課題の解決に向けて参考になったか



4. その他 要望・感想等（自由意見）

（要望）

- ・参加大学の日々の障害学生支援の内容や制度、ガイドラインへの取り組み状況がまちまちなので、議論するのが難しい。例えば大学の規模別や取り組みに応じた分科会があればよいと思う。
- ・各大学、苦労されている。その中で現状を拾えた事は非常に良かった。要望としては、講演がもう少しあっても良いと思った。
- ・午前、午後の2部構成で開催するのも良いのではないかと（事務局側は大変かとは思いますが…）

（感想）

- ・各々のもたれているキャリアや資格を通した専門的な意見が参考になった。
- ・参考にさせていただける情報をたくさんいただいた。また、自学の課題も再認識できた。
- ・Social inclusion や active learning の観点からも、学生間のサポート体制や障害理解がすすめられるプログラムの必要性を感じる。次年度までは「体制」が大きな課題でとなるが、ASD の学生が（グレーも含め）増えることが予想されるだけに、「学生の多様性」「多様な関係性」を紡げるようなプログラムを全学的につくれたらと考える。先進事例が関西にあればぜひご教示いただきたい。
- ・他大学の取り組み等を知ることができ、勉強になった。
- ・多くの大学の方々と意見交換ができ、精神障害のある学生への支援面で自大学の至らなさを痛感した。この研修で知らないこともたくさんあったので、知識を身に付けると同時に、できることからやっていきたいと思った。
- ・どの大学も、担当者の意識は高いが、学内では関心は高くない、と感じた。本人のために何ができるのかを第一に考えている仲間に出会えてよかった。
- ・実務に即した懇談会となり、大変有意義だった。
- ・ガイドラインの作成についてどの大学も同じような課題を持っておられ、貴重なご意見を得られた。また、各大学で取り組まれている工夫点は非常に参考になった。
- ・他大学の支援の様子が具体的に聞け、参考になった。また今後の学生支援システムのあるべき姿について考えさせられることが多く役に立った。
- ・各大学の取り組みなどがわかりとても良かった。
- ・ガイドラインを作成するにあたって、支援できる事だけ記載するのか、できない事も記すのか、改めて気づかされた。今年度にガイドラインが作成できるのか不安ではあるが、本日の分科会でお会いした教職員の方と情報を交換しながら進めていけそうなので、参加してよかった。
- ・私立大学、国立大学、様々な大学と意見交換することができて、とても勉強になった。
- ・専門家（相談員、ケースワーカー）の方もおられて、様々な立場で意見をきくことができた。学生部の立場から見えないこと、知らなかったことも多く、非常にためになった。
- ・本学の取り組みがまだまだ進んでいないことを実感した。
- ・支援室として、できることは何か？と自分から枠にはまってしまうと痛感した。学生によってどうすれば「この大学に来てよかった」と思ってもらえるのかを念頭において、学内でのネットワークの強化、連携を進めたいと思った。
- ・本学においても、自身の支援の力不足を痛感している。それぞれケースのプロセスを整理して、段階的に必要なこと（今すべきこと）を自分で理解し、必要な支援に近づけていきたい。
- ・情報、ネットにつながせていただいた。
- ・ざっくばらんに話せてよかった。

・ガイドライン策定や支援体制に関する具体的な情報をいただくことができた。もっとお聞きしたいことがある中、おさえておくべきこと、基本的なスタンスや心がまえなどを教えていただいた。春に向けて進めていきたい。

※その他、多くの方から、「ありがとうございました」と感謝のお言葉をいただきました。

以上